



芳滝 仁 議員
(拓政会)



平成31年に「アイヌ文化振興法」に代わり「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」（アイヌ施策推進法）が成立した。施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本方針が定められ、白老町には「ウポポイ」が開設、さらに「アイヌ政策推進交付金」は、地域計画の申請認定により、令和元年度から2年間で、25市町村に23億8千万円の交付決定がされているが、幕別町に交付されてはいない。

第6期幕別町総合計画の3カ年実施計画には「郷土文化資料館（仮称）建設事業」が明記され、本年は「アイヌ施策推進地域計画策定の検討」とあるが、以下について伺う。

- (1) 地域計画の策定について国の交付金を申請するのか、町独自の事業なのか、また財源は。
- (2) 資料館について構想の方向性は。
- (3) 資料館建設については、アイヌ文化専門の人材登用を。

問	答
<p>アイヌの人々の誇りが尊重される伝統的生活空間（イオル）の再生事業の推進を</p>	<p>千住生活館の機能にアイヌ民族資料等の展示スペースも併せた新たな複合施設を整備したい</p>

- (4) 千住生活館の今後の方向性は。
- (5) 千住公営住宅の今後の方向性は。
- (6) 観光、雇用等を含む総合的な計画策定を。

町長 (1) アイヌ施策推進法によ

り地域計画を作成し、計画に基づく事業の実施に対して、アイヌ政策推進交付金の交付を受けることができる。交付金の交付率は10分の8、市町村負担分は、起債もしくは特別交付税による地方財政措置があり、実質的な負担率は10%となっている。

第6期幕別町総合計画3カ年実施計画に掲載した「アイヌ施策推進地域計画策定の検討」は、この交付金を受けるため計画を作成しようとするもので、計画にはアイヌ文化の保存および継承、アイヌの伝統等の理解促進、観光振興・産業振興や地域内外の交流促進に関する事業などを盛り込むことになる。作成に当たっては、アイヌの方々や専門家など関係者のご意見を伺わなければならないが、新

型コロナウイルス感染症の影響により、計画作成業務が停止した状況にあり、今後収束状況を見ながら業務に着手したい。

- (4) アイヌ文化保存会の活動や共同入浴事業、地域住民のコミュニティ活動の場としての近隣センターとしても利用いただいている。アイヌ文化を保存し、正しく後世に伝えていくための拠点として、交付金を活用し複合的な機能を持った施設を新たに整備したい。
- (5) 入居世帯の居住動向、新たな需要等を十分に把握し、概ね5年ごとに見直しを行う新たな長寿寿命化計画の策定の中で、改めて用途廃止を含めて在り方を検討したい。
- (6) アイヌの指導者、吉田菊太郎氏が収集したアイヌ民族の収蔵品など貴重な資料が蝦夷文化考古館に収蔵されている。アイヌ民族の歴史や文化、生活館を拠点とするアイヌ文化伝承活動を後世に引き継いでいくための複合的な機能を有した施設が必要と考えている。

型コロナウイルス感染症の影響により、計画作成業務が停止した状況にあり、今後収束状況を見ながら業務に着手したい。



蝦夷文化考古館
(昭和34年 吉田菊太郎氏建設)

教育長 (2) 昨年5月にアイヌ施策推進法が制定され、アイヌ政策推進交付金が創設された。これを機に当該交付金を活用し、アイヌ文化の保存や伝承事業の拠点施設として、千住生活館の機能にアイヌ民族資料等の展示スペースも併せた新たな複合施設を整備したい。

(3) 国の交付金を活用した新たな施設の整備に向け、資料の展示や保管方法のほか施設の活用など、より専門的な知識を有する職員の配置が必要になる。加えて、昨年度の忠類ナウマン象化石骨発見50周年記念事業の発掘調査において、新たな足跡化石や本年度の発掘調査につながる発見があり、今後の事業展開や展示方法など当面する課題があり、高い専門性を有する学芸員の配置について検討したい。